

会 議 錄

会議の名称	令和7年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会（第2回）
開催日時	令和8年1月20日（火） 午前10時から10時55分まで
開催場所	新座市役所本庁舎5階 第2委員会室
出席者	金子 廣志 齋藤 寿美子 保戸田 雅之 清水 由紀子 結城 美千代 小林 千津 田中 美和（代理）小林 千枝子 山田 圭子 伊藤 浦人 生田目 真一 遠藤 達雄（代理）田辺 智恵 山崎 孝雄 岸野 健太朗 井口 幸彦 計14名
事務局職員	生涯学習スポーツ課 副課長：渡邊 真吾 主任：葛西 万琳 主事：佐藤 佳奈 主事：分須 佳奈子 高野 綾子 武嶋 正江
会議内容	1 開会 2 挨拶 3 議事 (1) 令和7年度運営状況について 資料1 (2) 令和7年度アンケートの実施及び結果について 資料2 (3) 令和8年度事業予定について 資料3 (4) 子どもの放課後居場所づくり事業実施要綱改正（案）について 資料4 (5) その他 4 閉会
会議資料	・次第資料 ・令和7年度新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営委員会役員名簿 ・令和7年度新座っ子ぱわーあっぷくらぶ申込案内
その他の事項	特になし

審議の内容	(審議経過、結論等)
1 開会 (司会: 葛西主任)	
2 挨拶 (金子教育長) 公務のため退席	
3 議事 (進行: 斎藤副委員長)	
	(1) 令和7年度運営状況について 資料1 (説明: 佐藤主事、分須主事) 【ココフレンド】
	学年別登録者数 (資料1~3頁)、月別参加平均人数 (4~9頁) 及び令和7年度下半期各ココフレンドの運営状況報告 (10~14頁) については資料のとおりである。
	また、令和7年度下半期の活動状況について、八石及び片山ココフレンドコーディネーターから報告いただいた。
	〈八石ココフレンド〉
	<ul style="list-style-type: none"> 8月に体育館の空調設置工事が終了したため、その後の暑い日は体育館を使わせていただいた。涼しくなってからは主に校庭で遊んでいる。 10月からココフレンドの冬時間になり、参加人数は減少している。 校長先生がココフレンドの様子を見に来てくれたり、一緒に遊んでくれたりしている。ココフレンドの活動が学校に定着してきたと感じる。
	〈片山ココフレンド〉
	<ul style="list-style-type: none"> ココフレンドの活動場所を考慮していただくなど、学校が大変協力的である。 今年度の1年生が小学校生活になかなか慣れない。上級生が注意をしたり、面倒を見てくれている。 体育館にエアコンが設置されているので、暑い夏の活動時には大変助かった。体育館では異年齢の遊びが発生し、時にはトラブルもあったが、上級生がルールを作ってうまく活動できるようになってきた。 読み聞かせのボランティアの方々が年に2回読み聞かせを行ってくれる。放課後児童保育室 (以下、「学童」という。) のこどもたちも参加し、大変好評である。 今年度は大きな怪我もなく運営できている。また、保護者も協力的である。
事務局	ココフレンド事業は事業開始から15年目を迎え、こどもの放課後の居場所づくり事業として定着してきた。一方でこどもを取り巻く環境も変化し、多様化してきている。現場のコーディネーターからは、配慮を必要とする児童の参加が増えていること、学校によってココフレンド運営への理解が異なり、学校との調整に苦慮しているなどの懸案事項が挙げられている。安定した事業の運営・継続のために事務局としても懸案事項の解消に向けて支援していく。
【ぱわーあっぷくらぶ】	資料について説明した。
	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度は9月から順次活動を開始し、令和8年3月7日まで活動を行う。今年度は29クラブを開設し、約430名の市内小学生が参加している。今年度は「ちいさな工作室」と「ボルダリング」を新規開設

した。

- ・ 12月19日から12月24日まで、市民ギャラリーで合同作品展を開催した。児童の作品、活動の様子の写真などを展示し、ぱわーあっぷくらぶの事業や成果について広く周知した。

委員 ココフレンドとは常に連携を取っている。学童の登録人数が大変多く、ココフレンド参加児童と一緒に校庭で遊ぶ時は、学童の支援員とココフレンドのスタッフの大勢の目で見守っている。先日は、校長先生にも御協力いただき、ココフレンド、学童の合同で避難訓練を行った。

委員 学童とココフレンドの一体的な運営を進めている。配慮を要する児童の対応、学校との円滑な調整が懸案事項である。

委員 ココフレンドの参加人数が多い時には学校の空き教室を活用している。また、ココフレンドコーディネーターの特技を生かし、冬休みには書初め教室を行った。学校としても大変助かっている。

- (2) 令和7年度アンケートの実施及び結果について **資料2** (報告：佐藤主事)
資料2のとおり報告を行った。

ぱわーあっぷくらぶのアンケートは現在準備を進めているところである。

副委員長 ぱわーあっぷくらぶのアンケート結果はいつ報告するのか。

事務局 令和8年度第1回の運営委員会で報告する。

副委員長 回答率が低いが毎年電子申請で実施しているのか。

事務局 令和6年度から全ての対象へ電子申請で実施している。繰返しお知らせをし、回答率は前年度より増加している。

委員 学校工事で夏休みが休室となったココフレンドは、公共施設を利用して開室することはできなかったのか。また、コーディネーター・スタッフの高齢化が心配である。

事務局 学校の施設をお借りして運営している事業である。児童の移動時の安全確保や、お借りする施設への影響等を鑑みると他の場所での活動は難しい。また、コーディネーター・スタッフの高齢化については、かねてからの課題である。委託化が進み、若いスタッフが少し増えている。

- (3) 令和8年度事業予定について **資料3** (説明：佐藤主事)

【ココフレンド】

資料3のとおり説明を行った。

副委員長 学校、保護者へはどのように周知するのか。

事務局 1月末に、学校には通知文を送付し、保護者には学校の一斉連絡アプリを利用して周知する。新入学児童の保護者には入学説明会でお知らせする。

【ぱわーあっぷくらぶ】

- ・ 令和8年度の開設クラブについては現在調整中である。指導者の高齢化、後任の確保が課題となっている。
- ・ ココフレンドでイベント講師をしてくださった方々が、ぱわーあっぷくらぶの新規開設に御協力いただける予定である。また、毎年ぱわーあっぷくらぶの指導者がココフレンドにおいて講座を実施している。今後も両事業の連携・交流を進めていきたい。

⇒ 承認された。

(4) 子どもの放課後居場所づくり事業実施要項改正（案）について **資料4**

（説明：佐藤主事）

資料4のとおり説明を行った。

⇒ 承認された。

(5) その他

委員 対応に苦慮する児童の参加が増えてきている。学校とは常に情報共有をしているが、教員経験のないコーディネーター・スタッフも多く、対応に限界を感じる。専門家の配置を検討していただきたい。

委員 こどもは様々な面を持っている。このような事業は家庭、学校、地域が情報共有し、連携して進めていく必要がある。学校、保護者と相談しながら対応していかなくてはならない。

委員 環境の変化や年齢が上がるにつれ落ち着いてくることがある。学校が大変協力的なので、情報共有、相談をしながら対応していきたい。

事務局 児童対応については、現場のコーディネーターを中心に学校、保護者、学童、必要であれば事務局を交え個別に対応している。また、コーディネーター会議で好事例対応の共有、全体研修会に専門家をお招きしての勉強会や意見交換の場を設けている。

4 閉会（葛西主任）